



# Dashboard 使用方法

Ver 1.0

2009年11月9日

株式会社クライム

## 目 次

1. はじめに	2
2. ダッシュボード(Dashboard)の概要と使用開始について	3
3. 共有パラメータ ( Shared parameters )	7
4. パラメータ範囲 ( Parameter Range )	11
5. ラベル追加:	11
6. ダッシュボード・バックグラウンドの追加:	11
7. その他のダッシュボード・オプション :	12
9. ダッシュボードの保存:	12
10. マイグレーション (Migration):	13

# 1. はじめに

## 1.1. 本ドキュメントについて

### 1.1.1. 対象範囲

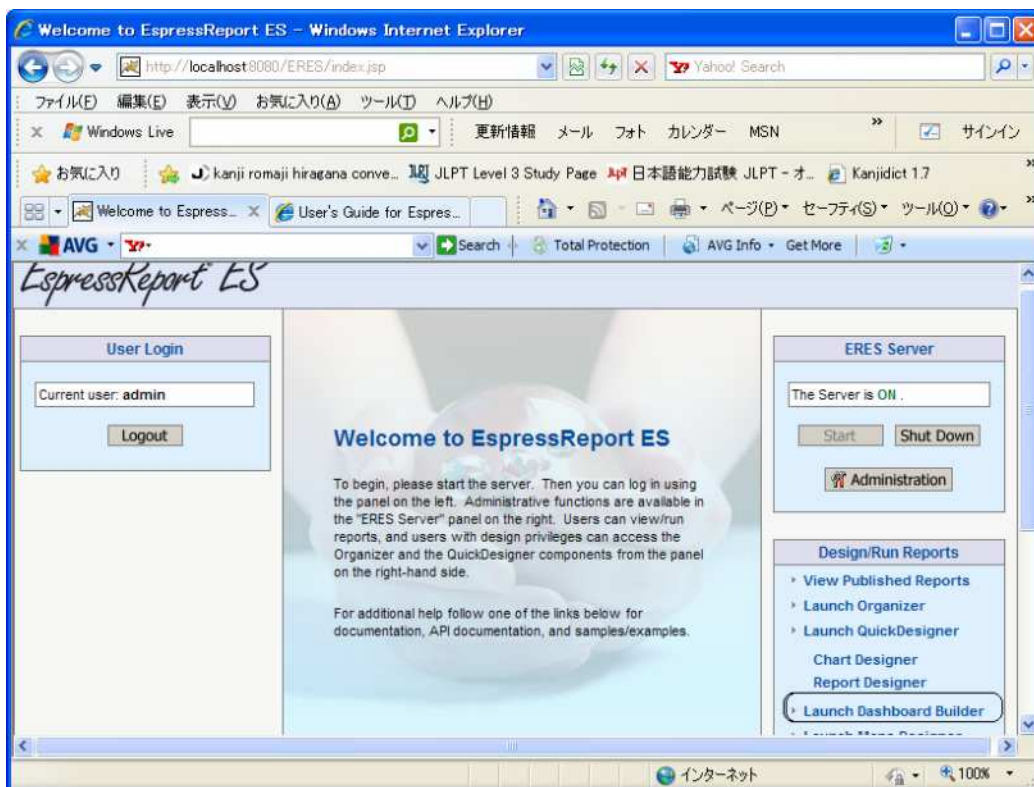
本ドキュメントは、EspressReport ES, EspressDashboard での Dashboard の使用方法について説明します。

## 1.2. 変更履歴

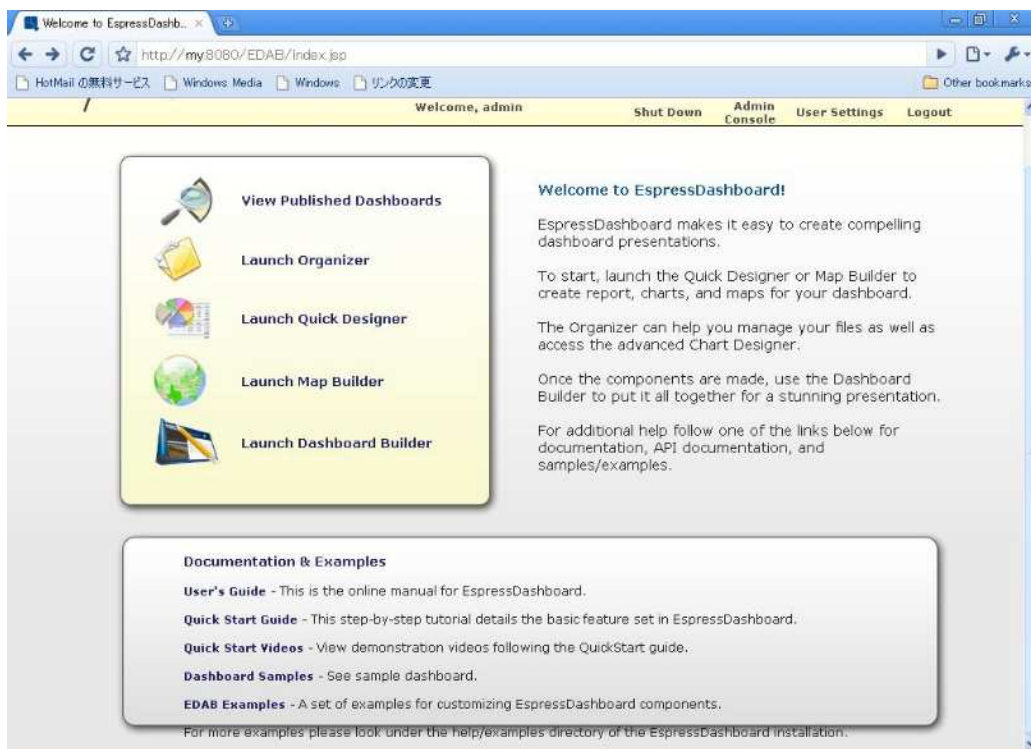
版	作成日	変更者	内容
1.0	2009/11/9	MK/VE	初版

## 2. ダッシュボード(Dashboard)の概要と使用開始について

EspressReport ES (ERES)と EspressDashboard (EDAB)のダッシュボード機能は「Dashboard Builder」インターフェースを使用して作成します。Organizer で作成したチャート、レポート、マップを使用して、使いやすい、シンククライアント・インターフェイスでダッシュボード・プレゼンテーションを簡単に作成することができます。Dashboard Builder は ERES/EDAB のスタート・ページから立ち上げます。もしデザイン権限をユーザが持っていれば「Launch Dashboard Builder」リンクからインターフェースをオープンできます。



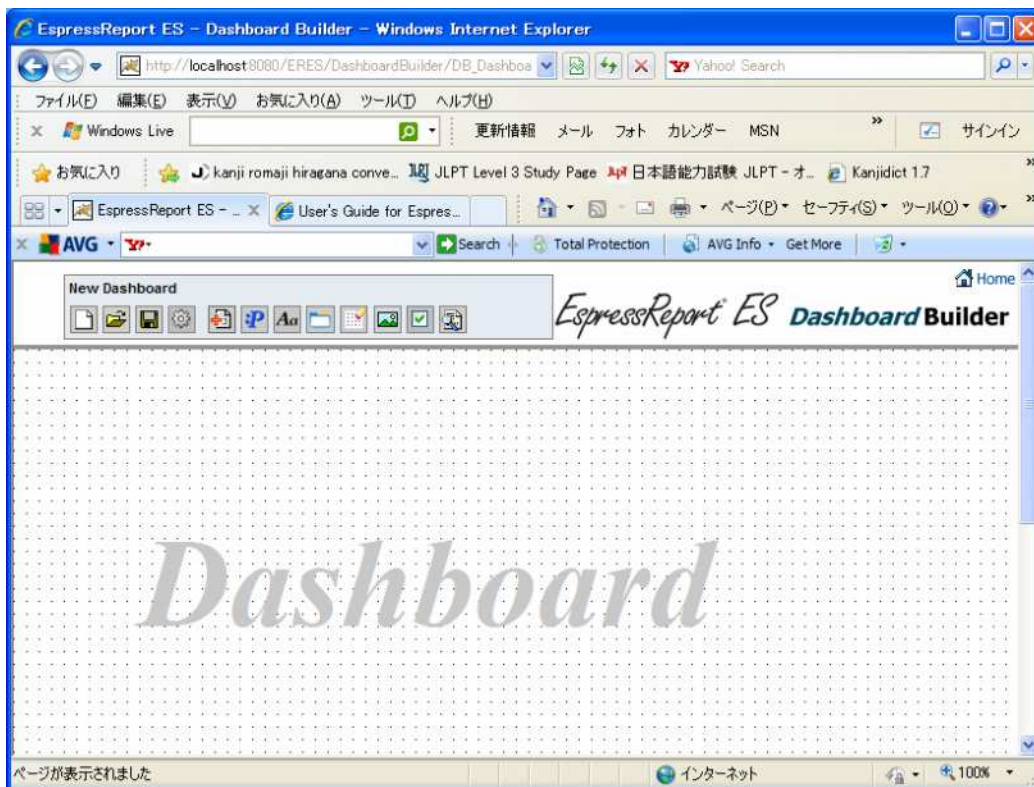
EspressReport ES スタート・ページ



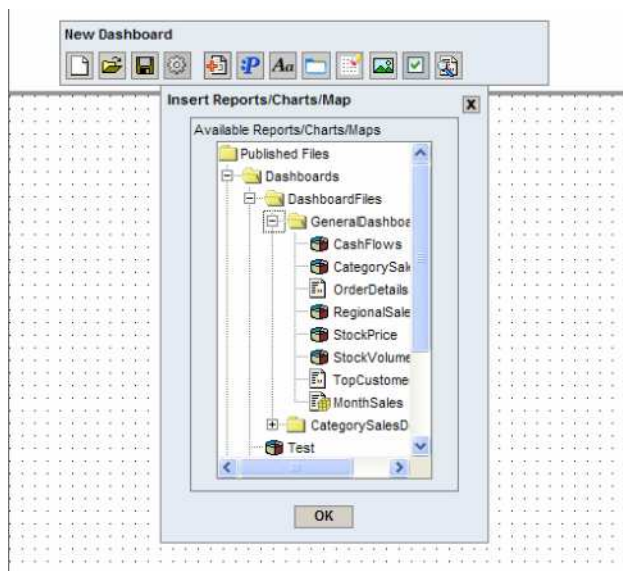
### EspressoDashboard スタート・ページ

ダッシュボード・スクリーンに次のアイコン・セットが表示されます。

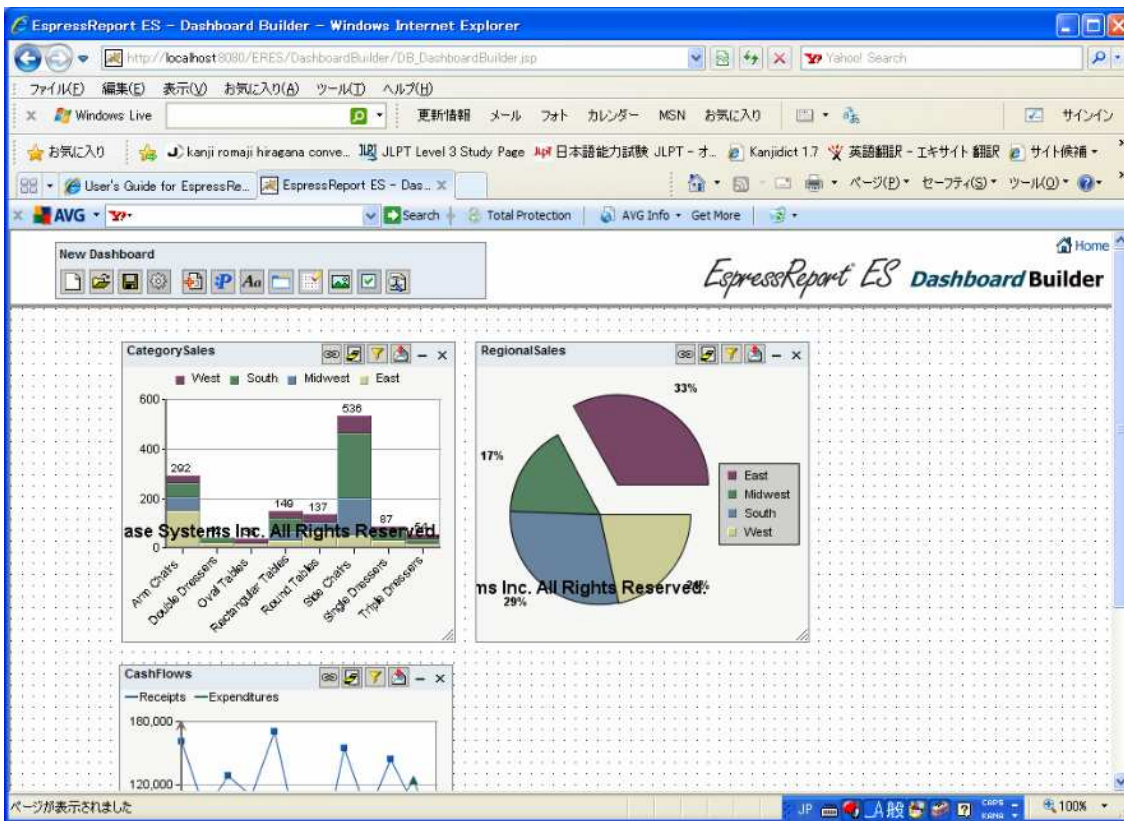
- 1: 新規ダッシュボード(Start a new dashboard)
- 2: 既存のダッシュボードを開く (Open an existing dashboard)
- 3: 現在のダッシュボードの保存(Save the current dashboard)
- 4: ダッシュボードのマイグレーション[移動] (Dashboard Migration)
- 5: 現在のダッシュボードにレポート/チャート/マップの追加(Add Report/Chart/Map to the current dashboard)
- 6: 共有パラメータを追加(Add Share Parameters)
- 7: 現在のダッシュボードにラベルの追加(Insert a Label into the current dashboard )
- 8: フォルダのインサート(Insert Folder)
- 9: グリッドのオン/オフ(Turn On/Off Grid)
- 10: ダッシュボード・バックグラウンドの追加 (Add Dashboard Background)
11. ダッシュボード追加オプション(Dashboard Additional Options )
- 12: 現在のダッシュボードのプレビュー(Preview the current dashboard)



ダッシュボードにチャート/レポート/マップを追加するには、ツールバーの「Add chart/report/map」アイコンをクリックします。ボタンをクリック後に「Insert Reports/Charts/Maps」ダイアログが表示されます。このダイアログに Organizer でのフォルダ構成がツリー上で表されます。ユーザがアクセス可能なチャート、レポート、マップがリストされます。ダッシュボードにチャート/レポート/マップを挿入するには、ツリー上のそれらをクリックすることで、ダッシュボードに追加されます。

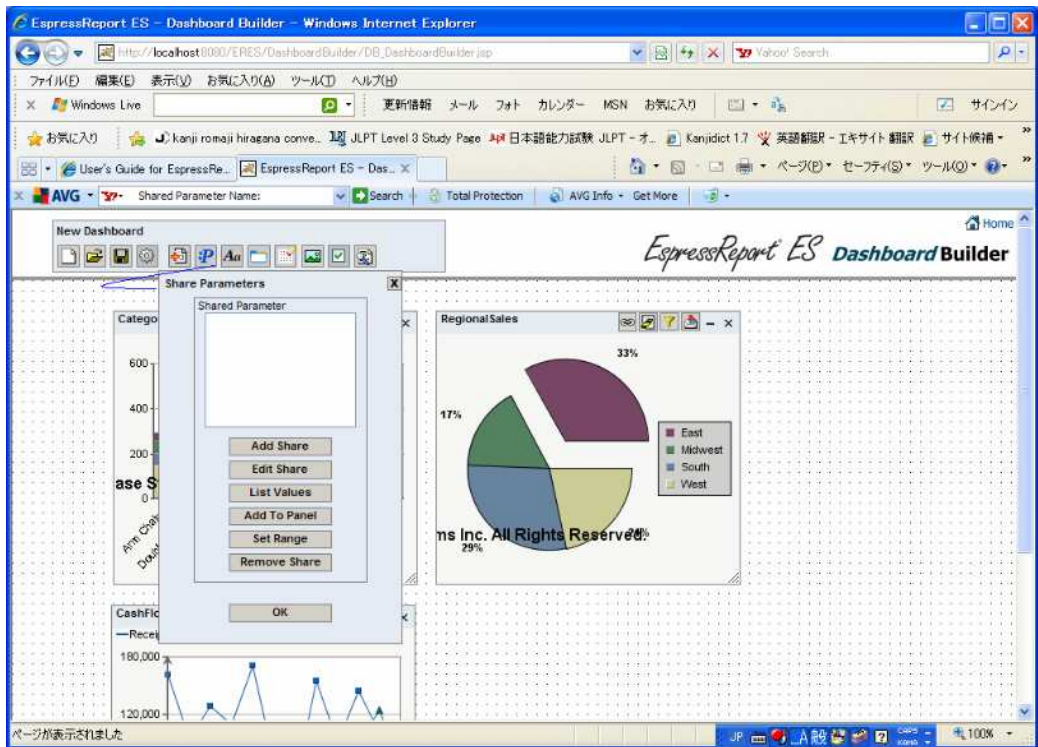


ダッシュボード上のチャート、レポート、マップはフリー・フォーマットで移動、サイズ変更が可能です。

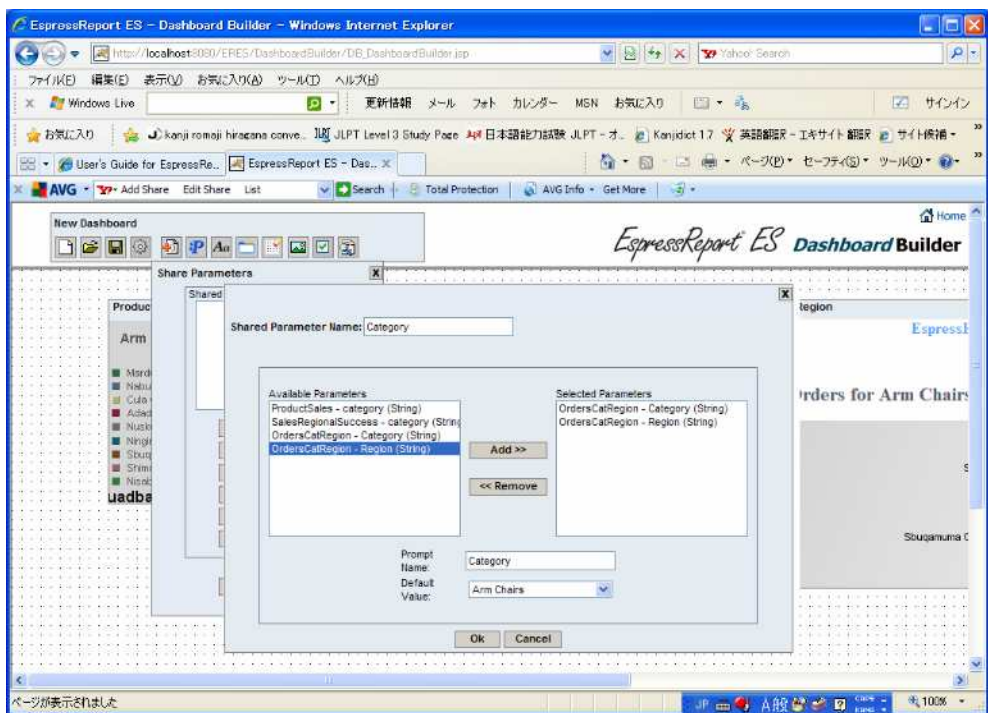


### 3. 共有パラメータ (Shared parameters) :

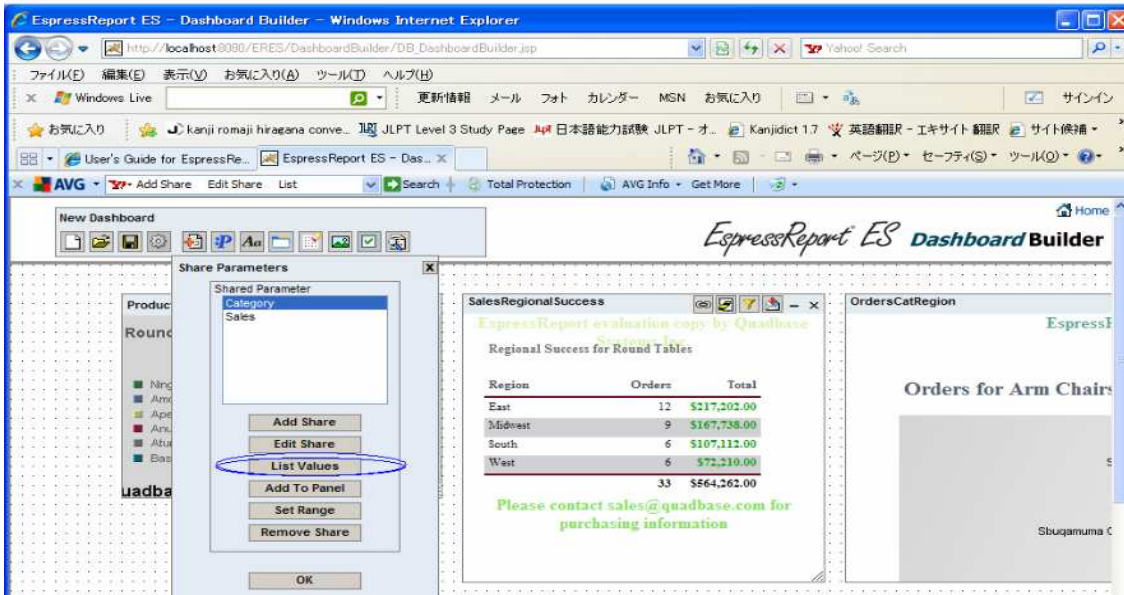
共有パラメータは 1 つのパラメータですべてのチャート/レポート/マップから共通パラメータでグループ化できます。一括でダッシュボード・アイテムの一部、股が全部に共通のフィルタを適応させることができます。ダッシュボードの共通パラメータのすべては共通パラメータ・ダイアログの「Shared Parameters」にリストされます。「Add Share」ボタンをクリックします。



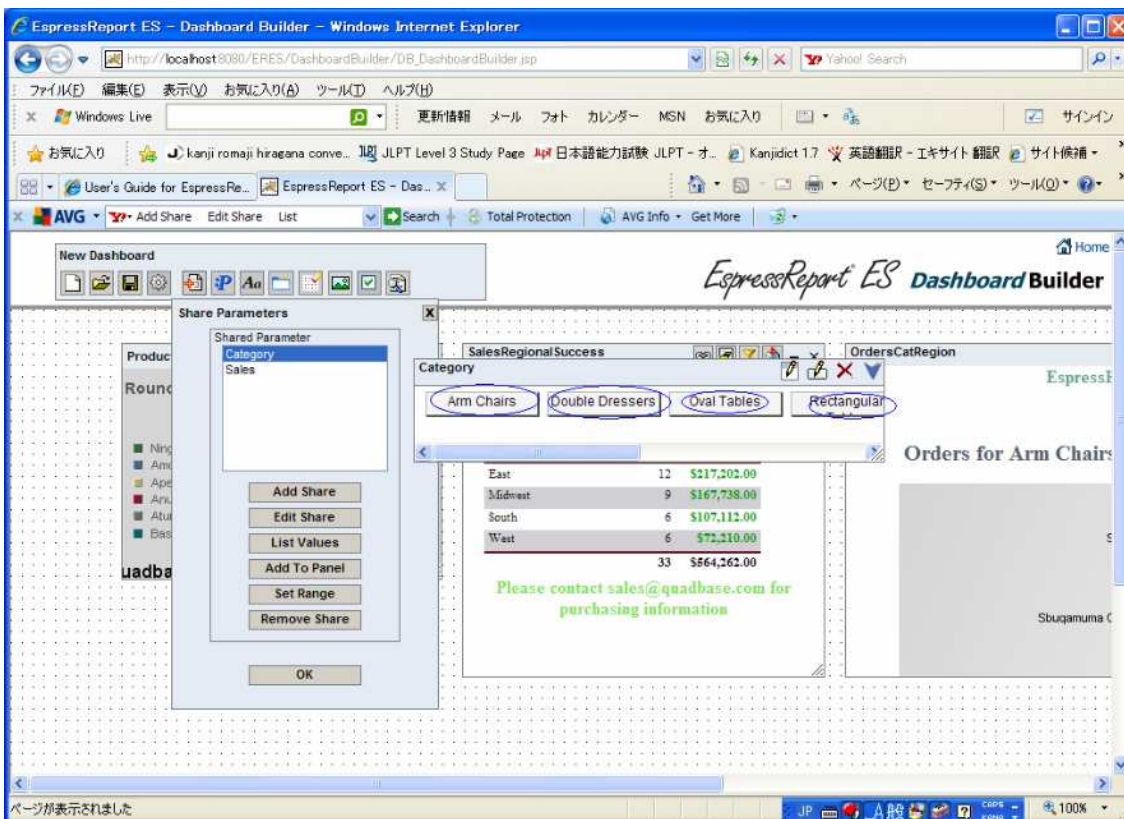
パラメータ値を設定するフィールド名を選択します。次に OK ボタンをクリックします。



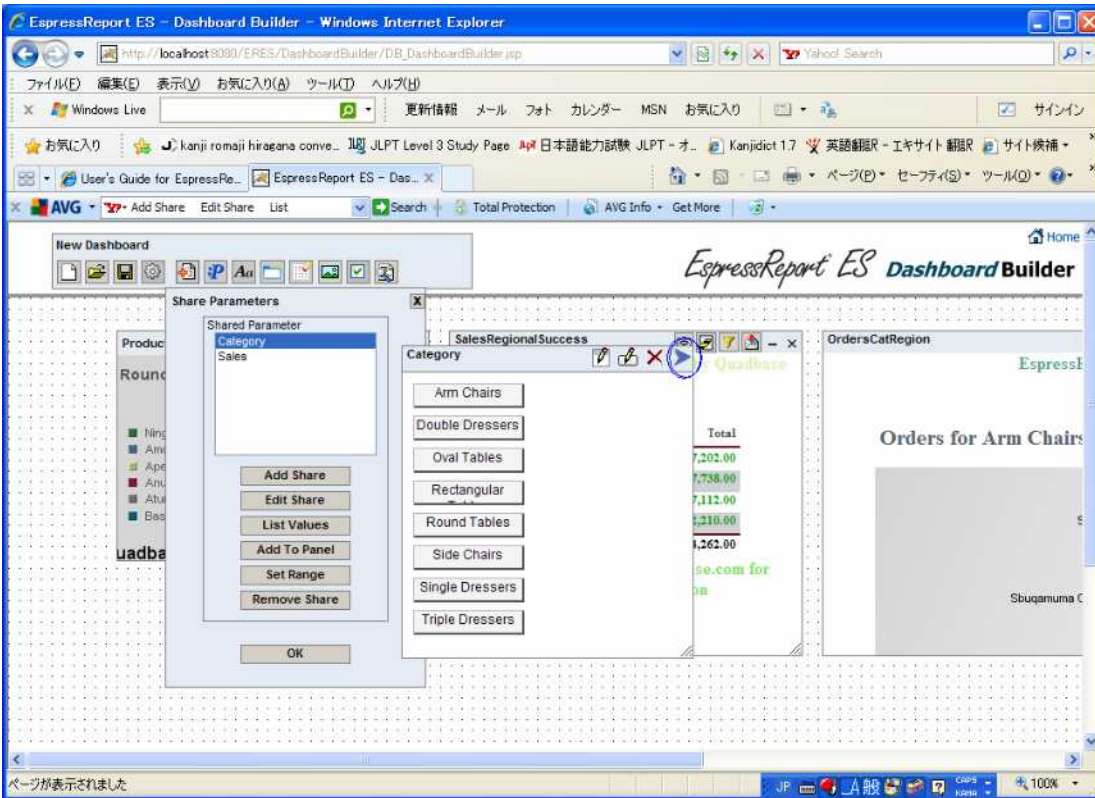
「Share Parameters」ウィザードで「List Values」ボタンをクリックします。



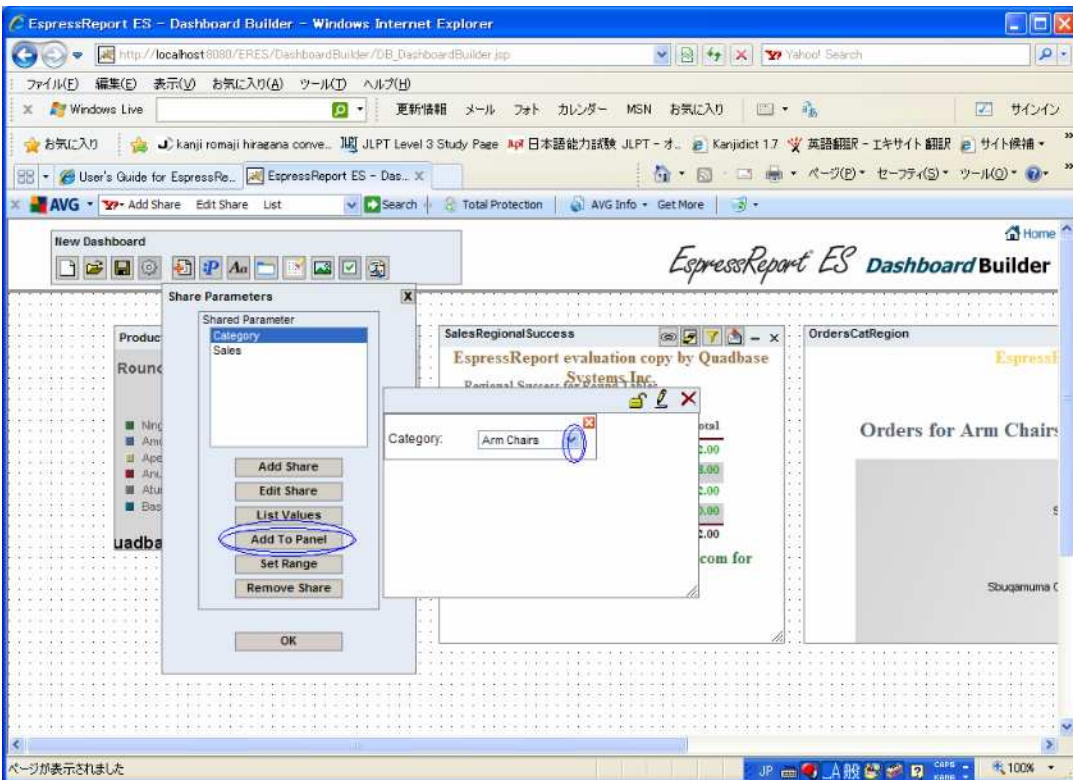
「List Value」ボタンをクリックすることでパラメータ・クエリが送られ、チャート/レポート/マップへ値が適応されます。関連するチャート/レポート/マップの変更を確認できます。



矢印ボタンを使用して水平/垂直ビューを変更することができます。



「Shared Parameter」のレイアウトはパネルにそれらを追加することで変更可能です。最初に「Shared Parameter」リストから選択し、「Add to Panel」ボタンをクリックします。これにより、そのパラメータを持ったパラメータ・パネルがオープンし、バリュー（値）のリスト・ボックスがパネルに追加されます。

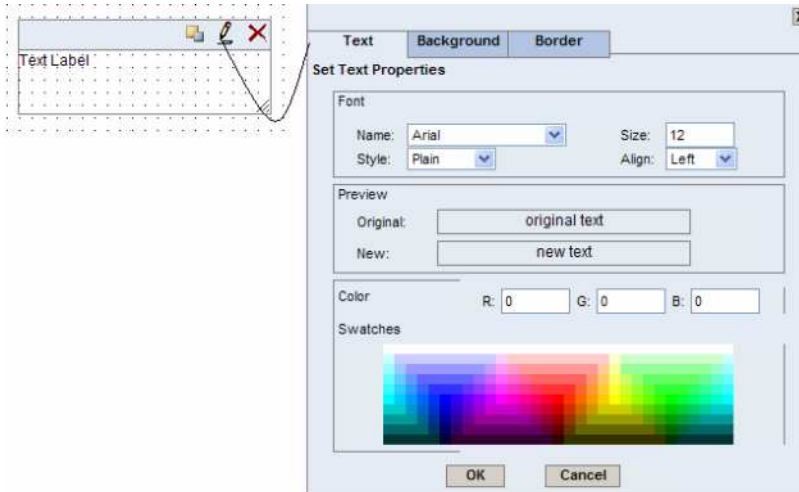


#### 4. パラメータ範囲 (Parameter Range) :

この機能で 2 つの共有パラメータに渡る範囲を設定できます。この機能を使用するには関連するパラメータを選択します (例: スタートと終了日等)。「Set Range」をクリックすることで Parameter Range スクリーンに移動します。

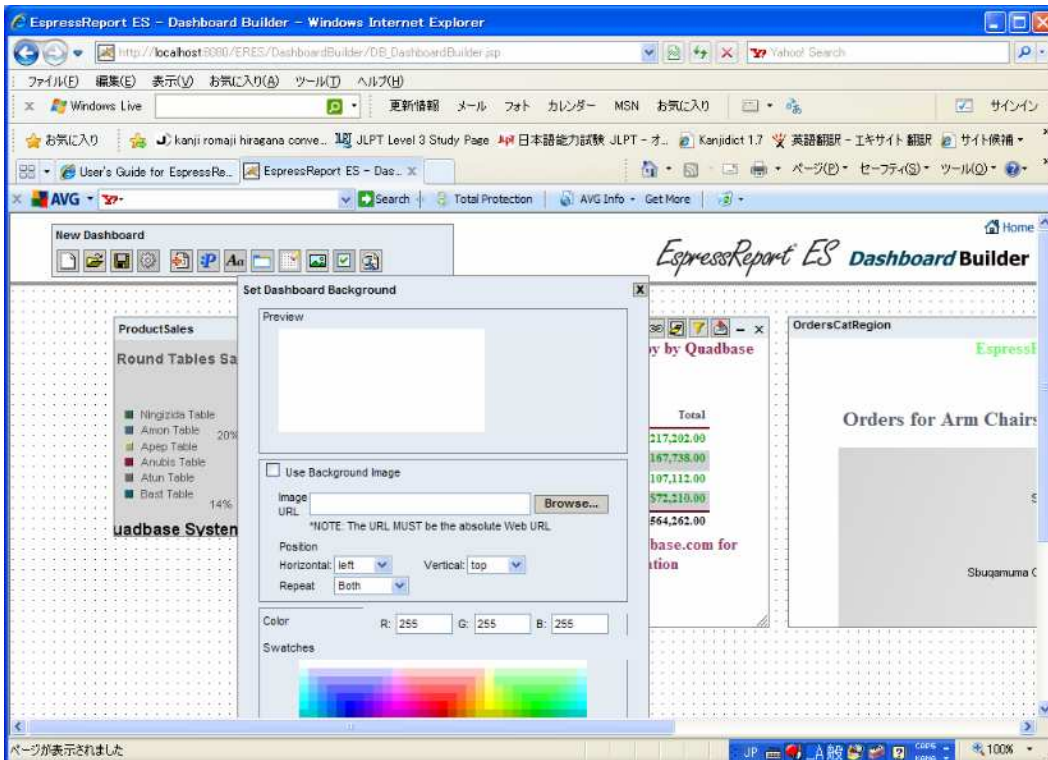
#### 5. ラベル追加:

ダッシュボードにラベルを挿入するには、「Insert Label」ボタンをクリックします。ラベルのプロパティ、ボーダとバックグラウンド・カラーを変更できます。



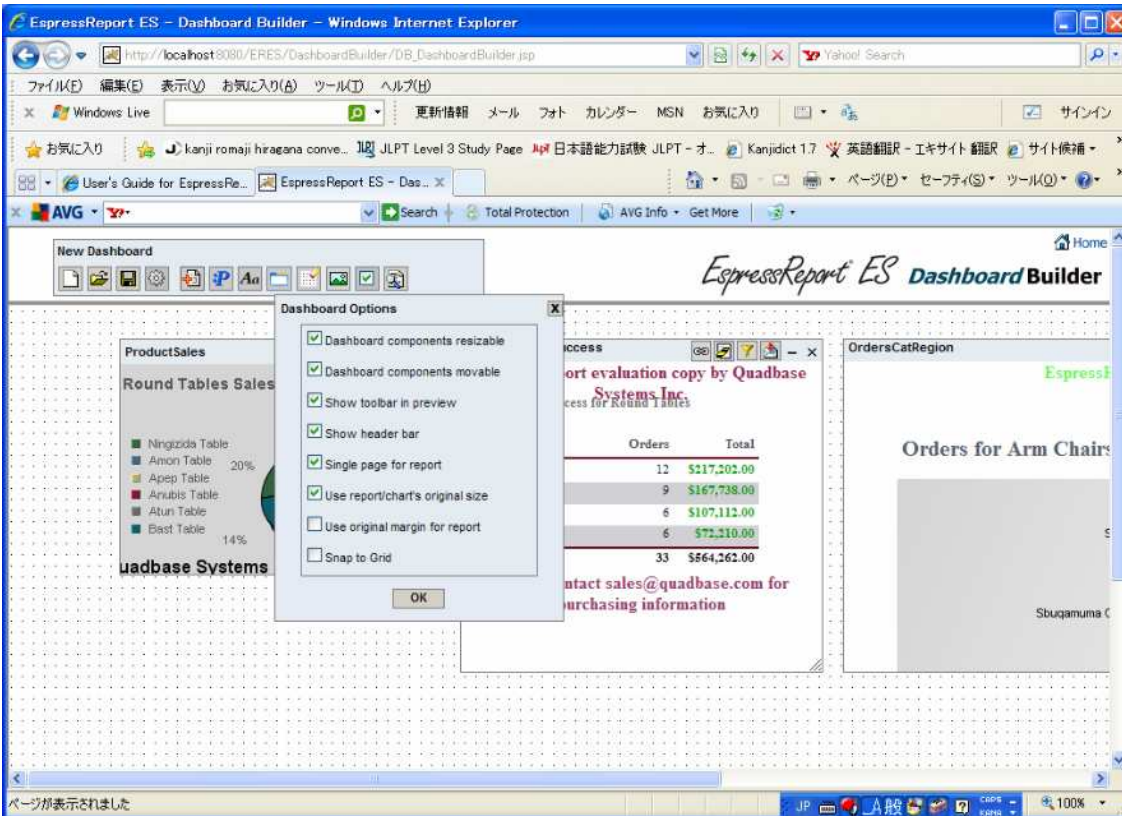
#### 6. ダッシュボード・バックグラウンドの追加:

「Add Dashboard Background」ボタンをクリックし、ダッシュボード・バックグラウンドを追加できます。



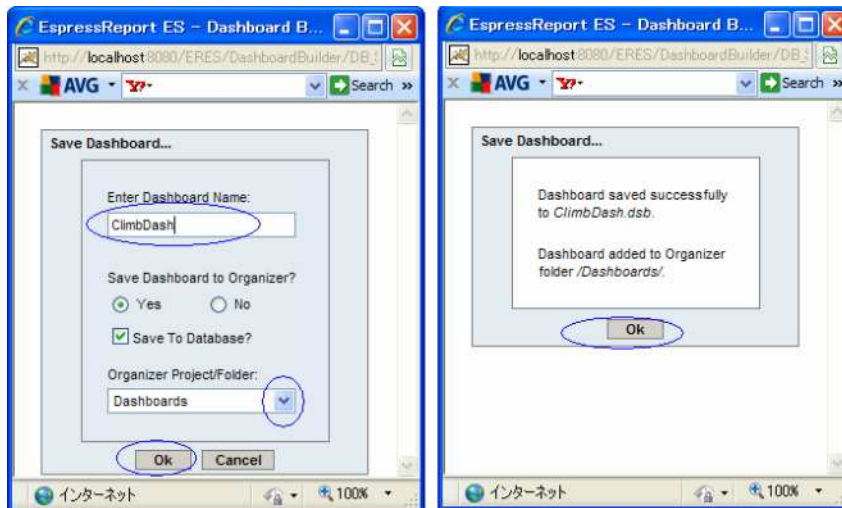
### 7. その他のダッシュボード・オプション:

ウィザードで必要なオプションをクリックします。



### 8. ダッシュボードの保存:

すべてのダッシュボード定義の設定が終了した時は「Save」ボタンをクリックし、ダッシュボードを保存します。その後、ダッシュボードの名前を指定するダイアログが現れます。



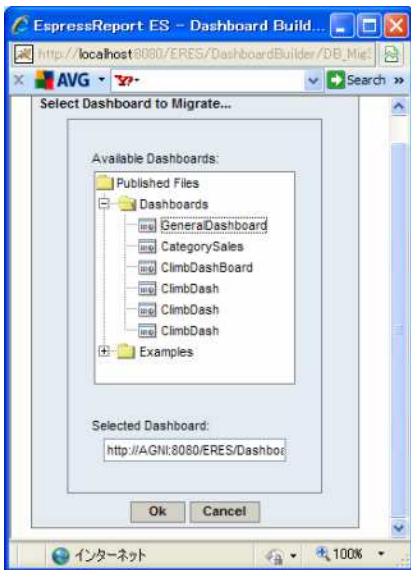
### 9. ダッシュボード・プレビュー:

どの時点でも「Preview」ボタンをクリックすることでダッシュボードのデザイン・プロセスのプレビューが可能です。

### 10. マイグレーション(Migration):

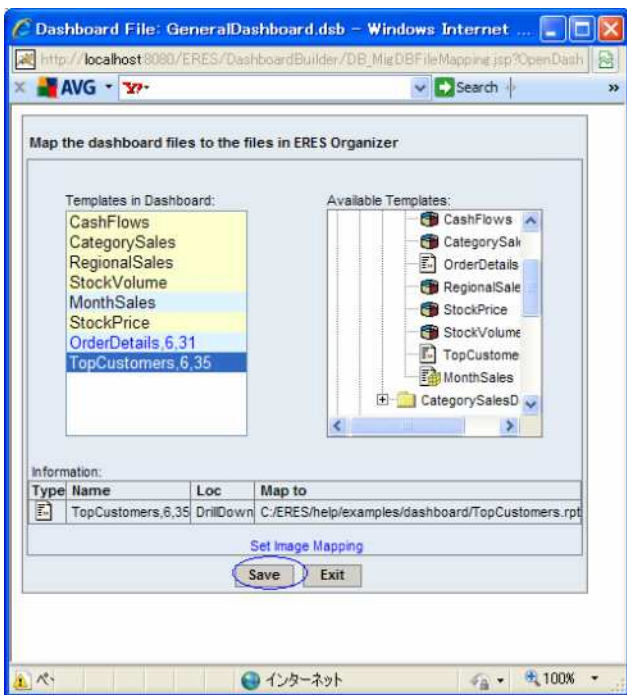
ユーザはしばしばダッシュボードが存在する場所を移動する必要があります。例えば、ダッシュボードをサーバと開発マシン間で移動するようなことがあります。開発マシンでのチャート/レポート/マップ・ロケーションは変更可能で、ダッシュボード .dsb ファイルが保存されているデータから分離されて配置されている可能性があります。そのために ERES ではユーザがダッシュボード・マイグレーション処理をダッシュボード・マイグレーション機能で行うことができます。

ダッシュボードをマイグレートするには「Dashboard Builder」から「Migration」ボタンをクリックします。ダイアログは Organizer でのフォルダ構成を反映したツリー構造で表されます。ユーザがアクセス可能なすべてのダッシュボードがリストされます。マイグレートするダッシュボードを選択するには、ツリー上の奪取ボードを選択し、「OK」をクリックします。



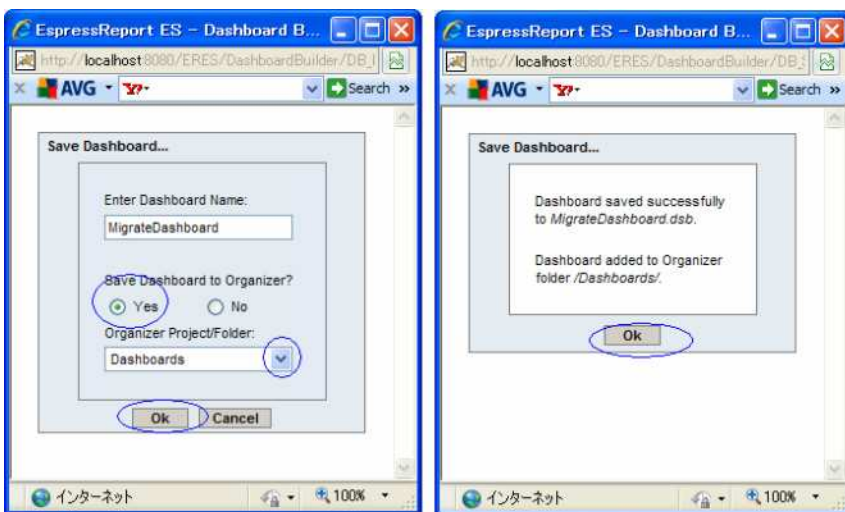
マイグレーション・マッピング・ダイアログが現れます。すべてのダッシュボードをテンプレートにマッピングします。





オリジナルのダッシュボードで使用されたすべてのイメージが URL でリストされます。

オプションを指定して「OK」をクリックすることで、ダッシュボードは保存されます。



保存フォルダにマイグレートされたダッシュボード (*MigrateDashboard*) を確認し、それをオープンします。

